

## 第73回国民体育大会の結果について

## 1 総合成績

## (1) 天皇杯(男女総合)

順位 24 位 得点 939.5 点 (前回:14位 1,125点 2016岩手: 2位 1,925点)

## (2) 皇后杯(女子総合)

順位 25 位 得点 555.5 点 (前回:12位 675.5点 2016岩手: 2位 981点)

## (3) 天皇杯上位県

第1位: 福井(2,896点) 第2位: 東京(2,246点) 第3位: 大阪(1,880点)

## (4) 東北各県天皇杯順位(得点) ※本県は東北で最高位

岩手県—24位(939.5点) 宮城県—30位(859点) 山形県—34位(817.25点)

秋田県—38位(787.5点) 青森県—42位(692.5点) 福島県—44位(654点)

## 2 優勝・入賞等

## (1) 優勝数 14種目 (2017愛媛・長野国体 13種目 2016岩手国体 20種目)

大会	競技	種目	氏名 *再掲	所属
冬季	スケート (スピード)	1 成年女子 500m	曾我こなみ	ホテル東日本
		2 少年女子 500m	熊谷 萌	盛岡工業高等学校3年
	スケート (ショートトラック)	3 成年男子 500m	村竹 啓恒	(公財) 岩手県体育協会
本大会	2 陸上競技	4 成年男子 砲丸投	佐藤 征平	国士舘クラブ
		5 成年男子 やり投げ	長沼 元	国士舘大学3年
	3 レスリング	6 成年男子 グレコローマンスタイル130kg級	金澤 勝利	自衛隊体育学校
	4 自転車	7 成年男子 スプリント	中野 慎詞	早稲田大学1年
	5 弓道	8 少年女子 近的	菅原 佑美	福岡工業高等学校3年
			玉川 龍桂	福岡工業高等学校3年
			土門 幸音	岩谷堂高等学校3年
	9 少年女子 遠的	*菅原 佑美	福岡工業高等学校3年	
		*玉川 龍桂	福岡工業高等学校3年	
		*土門 幸音	岩谷堂高等学校3年	
	6 カヌー	10 少年男子 カナディアンシングル200m	吉田 俊吾	不来方高等学校3年
		11 少年男子 カナディアンシングル500m	*吉田 俊吾	不来方高等学校3年
		12 少年女子 カヤックペア200m	稲垣 千夏	不来方高等学校3年
	7 アーチェリー	13 少年女子 個人	佐々木侖奈	不来方高等学校3年
8 ボクシング	14 成年男子 ミドル級	小野寺みずき	盛岡白百合学園高等学校3年	
			梅村 錬	拓殖大学3年

## (2) 入賞数 91種目 (2017愛媛・長野 102種目 2016岩手国体 172種目)

## 3 成績推移

国体 開催地	回数	63回	64回	65回	66回	67回	68回	69回	70回	71回	72回	73回
	年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
	本大会	大分	新潟	千葉	山口	岐阜	東京	長崎	和歌山	岩手	愛媛	福井
スケート	長野	青森	北海道	青森	岐阜・愛知	東京・福島	栃木	群馬	岩手	長野	山梨・神奈川	
スキー	長野	新潟	北海道	秋田	岐阜	秋田	山形	群馬	岩手	長野	新潟	
本県 成績推移	回数	63回	64回	65回	66回	67回	68回	69回	70回	71回	72回	73回
	天皇杯順位	36	39	33	41	39	23	37	16	2	14	24
	競技得点	801.0	744.5	812.5	715.0	790.0	943.0	807.5	1,099	1,925	1,125	939.5
	皇后杯順位	35	44	37	39	40	27	33	16	2	12	25
競技得点	453.0	371.0	427.5	390.0	408.0	483.0	450.0	598	981	675.5	555.5	

## 4 分析

- 希望郷いわて国体に向けて強化を図ってきた少年種別の選手が、成年種別に出場し優勝を果たすなどレガシーの継承が見られた。
- 国体出場枠が少ない競技が、ブロック大会を通過して競技得点を獲得した。
- アドバイザーコーチ招聘事業を活用し、最新のトレーニング法や戦術等を取り入れている競技団体が成果をあげた。